

教科名〔 数 学 〕

科 目 名	単 位 数	学 年 ・ 組	担 当 者 名
数学Ⅱ（イ）	2 単位	2 年 1 ～ 5 組	＊

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	①多項式の割り算や分数式の計算について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 ②複素数や2次方程式の解について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 ③点と直線について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を伸ばす。 ④円と直線について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を伸ばす。 ⑤不等式と領域について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を伸ばす。
使用教科書・副教材等	使用教科書：数研出版『改訂版 高校の数学Ⅱ』、 副教材：数研出版『ポイントノート 数学Ⅱ』、プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考 査 範 囲	評価の観点のポイント				
						態 度	関 心 ・ 意 欲	思 考 ・ 判 断	技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解
第 1 学 期	(数学Ⅰの復習)			課題プリント		○				○
	1 章 式と証明・高次方程式 1 節 式と証明 1. 多項式のわり算 2. 分数式の計算(1) 3. 分数式の計算(2)	4 ・ 5	・数学Ⅰで学んだ整式の加法・減法・乗法について、基本的な事項に十分時間をかけてしっかりと理解する。 ・整式の除法の意味を理解し、その計算ができるようになる。 ・分数式について理解させ、分数式の四則演算ができるようになる。 ・分数式の形において、分母は単項式の場合だけでなく、多項式になる場合も取り上げて検討する。	課題プリント 副教材	第 1 学 期 中 間 考 査	○			○	○
第 1 学 期	2 節 複素数と方程式 1. 複素数 2. 複素数の計算 3. 2次方程式の解と判別式 4. 因数定理 5. 高次方程式	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	・数の範囲を複素数に拡張する。 ・複素数の基本的な性質を理解する。 ・複素数の四則計算ができるようになる。 ・2次方程式の解の公式を用いて、解けるようになる。 ・判別式を用いて、解の判別ができるようになる。 ・解と係数の関係を理解する。 ・因数定理を理解させ、それを用いて簡単な高次方程式が解けるようになる。	課題プリント 副教材	第 1 学 期 期 末 考 査	○		○	○	○
第 2 学 期	2 章 図形と方程式 1 節 点と直線 1. 直線上の点と距離 2. 直線上の内分点・外分点 3. 平面上の点と距離 4. 平面上の内分点・外分点 5. 直線の方程式	9 ・ 10	・数直線や座標平面上で、2点間の距離や千分の内分点・外分点の座標を求めることができるようになる。 ・座標平面上にある直線の方程式を求めることができるようになる。	課題プリント 副教材	第 2 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	○

	6. 2直線の関係		・2直線の交点の座標や平行・垂直の条件を調べ、それをもちいることができるようになる。				○	○	○
	2節 円 1. 円の方程式 2. 円と直線	10 ・ 11 ・ 12	・座標平面上の円の方程式を求めることができるようになる。 ・与えられた式を変形して、円の方程式から中心と半径を求めることができるようになる。 ・円と直線の位置関係について理解する。 ・原点を中心とする円周上の点における接線の方程式を求めることができるようになる。	課題プリント 副教材		第2学期 期末 考査	○	○	○
第3学期	3. 領域 4. 不等式と領域(1) 5. 不等式と領域(2)	1 ・ 2 ・ 3	・条件を満たす奇跡の方程式を求めることができるようになる。 ・不等式や連立不等式の表わす領域を図示できるようになる。 ・斜線で示された領域を不等式や連立不等式で表わすことができるようになる。	課題プリント 副教材		学年 末 考査	○	○	○
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業のノート・授業に用いたプリント・課題プリント・副教材の問題集・長期休暇の宿題など。									
【1・2・3学期における評価方法】 考査・提出物の内容・授業を受ける態度などから総合的に評価する。									